

3 保健対策課

保健対策課は専門的な対人保健サービスの提供と、保健医療を中心とした地域ネットワーク構築を役割として、感染症対策、障害児（者）保健、障害児（者）歯科保健、難病対策、精神保健福祉及び医療費助成等の事業を担当した。

（1）感染症予防対策

麻しんやインフルエンザ等の感染症予防、エイズ対策及び結核対策の3分野を実施している。

① 感染症対策

感染症発生時には、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づいた疫学調査（法第15条）や健康診断（法第17条）等を行い、感染拡大防止や二次感染予防、感染症に対する普及啓発等を行った。また、平常時から、感染症発生動向調査事業や小児感染症サーベイランス事業により、感染症の発生状況を迅速に収集し、医療機関等に情報を発信し、感染症の流行時等には、必要に応じ学校等への周知とともにホームページや広報などで市民への注意喚起を行った。

ア 感染症届出状況

法第 12 条に基づく八王子市内の医療機関からの平成 25 年度 1 類～5 類全数届出件数は 278 件であった。

感染症発生件数（表（1）－1）

区分		年度	25
		総数	278
疾患名	一類	エボラ出血熱	-
		クリミア・コンゴ出血熱	-
		痘そう（天然痘）	-
		南米出血熱	-
		ペスト	-
		マールブルグ病	-
		ラッサ熱	-
	二類	急性灰白髄炎	-
		結核	159
		ジフテリア	-
		重症急性呼吸器症候群	-
		鳥インフルエンザ（H5N1）	-
	三類	コレラ	-
		細菌性赤痢	1
		腸管出血性大腸菌感染症	26
		腸チフス	-
	四類	パラチフス	-
		A型肝炎	1
	五類	レジオネラ症	1
		アメーバ赤痢	4
		急性脳炎	1
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1
		後天性免疫不全症候群	9
		侵襲性髄膜炎菌感染症	1
		侵襲性肺炎球菌感染症	1
		梅毒	4
		風しん	64
麻しん		5	

但し、四類、五類については届出のあったもののみ

イ 感染症の診査に関する協議会

法に基づき、入院の勧告、就業制限、結核患者等の医療費公費負担等について、保健所に設置された「感染症の診査に関する協議会」で必要な事項を審議し、その意見を反映した。平成 25 年度は 51 回開催した。

平成 25 年度 協議会開催状況（表（1）－2）

区 分	定例協議会	緊急協議会
開催回数	24 回	27 回

* 定例協議会は原則第 2、第 4 金曜日に開催

ウ 積極的疫学調査

感染症発生時、法第 15 条に基づく積極的疫学調査を行い、感染経路の特定や二次感染の予防に努めた。また、必要時には調査の一環として検体検査（麻しん、ノロウイルス等）を行った。

積極的疫学調査実施状況（表（1）－3）

区 分	麻しん	ノ ロ ウ イ ル ス	赤 痢	腸 管 出 血 性 大 腸 菌	結 核	レ ジ オ ネ ラ	イ ン フ ル エ ン ザ	疥 癬	そ の 他	計
高 齢 者 福 祉 施 設	—	3	—	—	9	1	—	1	—	14
障 害 者 福 祉 施 設	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
学 校	—	—	—	—	3	—	—	—	—	3
保 育 園 幼 稚 園	—	4	—	1	—	—	—	—	—	5
病 院	—	3	—	2	13	1	1	1	3	24
そ の 他	—	1	—	—	—	—	—	1	—	2
小 計	—	11	—	3	25	2	1	3	3	48
個 人	4	—	1	29	87	—	—	—	—	121
合 計	4	11	1	32	112	2	1	3	3	169

エ 健康診断

感染症発生時に、法第 17 条に基づき、患者・関係者に対し健康診断を実施した。

（結核に関するものは別途記載）

検便実施状況（表（1）－4）

区 分	検 査 件 数	陽 性 者 総 数	内 訳
			大 腸 菌 感 染 症 腸 管 出 血 性
総 数	237	7	7
病後経過者	30	—	—
患者関係者	207	7	7

オ 八王子市小児感染症サーベイランス事業

八王子市における小児感染症にかかわる情報を迅速に収集・分析・発信し、小児感染症のまん延を防止するために、感染症発生動向調査事業の定点である 11 医療機関（平成 23 年 1 月より 7 医療機関追加）に市独自の 3 医療機関を加えた市内の小児科 14 医療機関の協力により、毎週報告を集約しホームページで情報を発信している。また、感染症発生動向の情報提供及び感染症予防対策推進の検討を目的として、年に 1 回小児感染症サーベイランス検討委員会を開催している。

カ 健康教育

感染症の発生予防とまん延防止対策を普及啓発するため、健康教育を実施している。

感染症健康教育実施状況（表（1）－5）（結核とH I Vに関するものは別途記載）

実施日	テーマ	講師	対象者	参加者数
25 年 7 月 11 日	感染症について	保健師	食品衛生実務者	437
7 月 30 日	〇 1 5 7 について	医師・保健師	保育園長	100
9 月 17 日	〇 1 5 7 について	医師	幼稚園長	20
10 月 24 日	感染症予防講習会	医師・保健師	高齢者施設職員	13
11 月 14 日	感染症について	保健師	家庭福祉員	20
12 月 24 日	施設における感染症対策	保健師	高齢者施設管理者	100

キ インフルエンザ様疾患集団発生報告

小中学校等のインフルエンザ様疾患による臨時休業の状況を把握した。

インフルエンザ様疾患臨時休業状況（各月あたり延べ数）（表（1）－6）

年 度	区 分	総 数	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
24	学校数	108	—	—	1	1	70	23	3	1	8	1
	学級数	118	—	—	1	2	73	28	3	1	9	1
25	学校数	154	—	—	—	—	41	68	43	2	—	—
	学級数	379	—	—	—	—	91	191	95	2	—	—

ク 肝炎ウイルス検査、相談及び陽性者への保健指導

過去に検査を受けたことがなく、かつ職場等でも検査を受ける機会のない 39 歳以下の市民を対象に、B型肝炎及びC型肝炎ウイルス検査を市内医療機関に委託して無料で行うとともに、陽性者（健康増進法による検診対象者を含む。）に対しては、治療勧奨、肝炎手帳の配布、医療費助成の案内等、保健指導を行った。また、ウイルス肝炎に関し健康不安を抱える市民などからの相談を受け、検診の勧奨や正しい知識の普及に努めた。

ウイルス肝炎検査等実施状況（表（1）－7）

検 査		陽 性 者			陽 性 者 へ の 保 健 指 導		
B型	C型	計	B型	C型	計	B型	C型
223	223	6	4	2	6	4	2

② エイズ対策

H I V／エイズ予防のための知識の普及と感染に対する不安、悩み等の解決を図るため、医師、保健師による相談（電話・来所）及びH I V検査を行った。

H I V検査時、希望者には併せて、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症の性感染症の検査も実施した。

健康教育については若い世代への啓発活動を重点項目とし、エイズ・ピア・エデュケーションを行った。エイズ・ピア・エデュケーター養成講座を14回実施し、6名のエデュケーターを養成した。

エイズ相談・H I V抗体検査実施状況（表（1）－8）

年度	相 談									H I V抗体検査			性感染症検査								
	総 数			電 話			来 所						梅毒血清検査			クラミジア抗体検査			淋菌検査		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
24	3,241	2,118	1,123	602	393	209	2,639	1,725	914	1,268 (428)	811	457	1,062	662	400	1,055	661	394	627	388	239
25	3,495	2,182	1,313	500	304	196	2,995	1,878	1,117	1,395 (447)	869	526	1,171	709	462	1,062	649	413	1,062	649	413

*（ ）内は迅速検査実施分（再掲）

エイズ健康教育実施状況（表（1）－9）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人員
25年4月 ～26年3月 (計14回)	エイズ・ピア・エデュケーター養成	保健師	大学生	35
25年5月12日	学生天国	保健師、 ピアエデュケーター	大学生、市民	147
7月12日	H I V／A I D Sについて	保健師、 ピアエデュケーター	職業能力開発センター	53
10月19日	帝京大学大学祭	保健師、 ピアエデュケーター	大学生、市民	170
26年3月 4日	H I V／A I D Sについて	保健師、 ピアエデュケーター	中学3年生	167
3月17日	H I V／A I D Sについて	保健師、 ピアエデュケーター	中学3年生	143

③ 結核対策

結核の予防、早期発見、再発防止及び感染拡大防止を図るため、患者の登録、入院の勧告、就業制限、療養支援、治療終了後の管理検診及び家族・接触者に対する健康診断・保健指導を実施し、並びに医療費の公費負担事務を行った。患者支援として DOTS（Directly Observed Treatment, Short-course：直接監視下短期化学療法）事業を行っている。

ア 結核登録者状況

年末現在登録者数（活動性分類、受療別）（表（1）－10）

（平成25年12月31日現在）

区分	登録患者数											潜在性結核症 (別掲)	
	登録者 総数	活動性結核								不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明		
		総 数	肺結核活動性					肺 外 結 核 活 動 性					
			総 数	初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の		菌 陰 性 ・ そ の 他				
24年総数	234	59	51	24	24	-	23	4	8	166	9	11	102
25年総数	222	73	59	29	28	1	25	5	14	133	16	59	103
医療 形態	入院中	22	22	17	11	10	1	6	0	5	0	0	0
	外来治療中	50	49	40	17	17	0	18	5	9	0	1	58
治療なし	不明	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0

年末現在登録者数（活動性分類、年齢階級別）（表（1）－ 1 1）

（平成 25 年 12 月 31 日現在）

区 分	登 録 患 者 数											潜 在 性 結 核 (別掲)	
	登 録 者 総 数	活 動 性 結 核								不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明		
		総 数	肺 結 核 活 動 性					肺 外 結 核 活 動 性					
			喀痰塗沫陽性			結 核 菌 陽 性 の 他 の	菌 陰 性 ・ そ の 他						
総 数	総 数	初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の			菌 陰 性 ・ そ の 他	肺 外 結 核 活 動 性	治 療 中	観 察 中		
24年総数	234	59	51	24	24	-	23	4	8	166	9	11	102
25年総数	222	73	59	29	28	1	25	5	14	133	16	59	103
～ 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5
5 ～ 9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
10 ～ 14	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	6
15 ～ 19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1
20 ～ 29	21	4	3	-	-	-	3	-	1	15	2	4	12
30 ～ 39	17	5	5	2	2	-	2	1	-	10	2	9	15
40 ～ 49	39	16	14	10	10	-	4	-	2	20	3	10	20
50 ～ 59	22	5	4	2	2	-	2	-	1	14	3	11	16
60 ～ 69	33	8	6	3	3	-	3	-	2	22	3	6	18
70 ～	89	35	27	12	11	1	11	4	8	51	3	3	6

新登録患者数（活動性分類、受療別）（表（1）－ 1 2）

（平成25年1月1日～12月31日）

区 分	登 録 患 者 数									潜 在 性 結 核 (別掲)
	登 録 者 総 数	活 動 性 結 核							肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	肺 結 核 活 動 性				結 核 菌 陽 性 の 他 の	そ の 他		菌 陰 性 ・ そ の 他
			総 数	初 回 治 療	再 治 療	結 核 菌 陽 性				
2 4 年 総 数	89	76	28	26	2	36	12	13	24	
2 5 年 総 数	87	70	34	32	2	30	6	17	72	
医 療 形 態	入 院 中	47	40	32	30	2	8	-	7	-
	外 来 治 療 中	37	28	2	2	-	21	5	9	72
	治 療 な し	3	2	-	-	-	1	1	1	-
	不 明	-	-	-	-	-	-	-	-	-

新登録患者数（活動性分類、年齢階級別）（表（1）－ 1 3）（平成25年1月1日～12月31日）

区 分	登 録 患 者 数								潜 在 性 結 核 (別掲)
	登 録 者 総 数	活 動 性 結 核							
		肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活 動 性	
		総 数	喀 痰 塗 沫 陽 性			結 核 菌 陽 性	そ の 他		
総 数	初 回 治 療		再 治 療						
24年総数	89	76	28	26	2	36	12	13	24
25年総数	87	70	34	32	2	30	6	17	72
0～4	-	-	-	-	-	-	-	-	6
5～9	-	-	-	-	-	-	-	-	2
10～14	-	-	-	-	-	-	-	-	9
15～19	-	-	-	-	-	-	-	1	4
20～29	4	3	1	1	-	2	-	1	5
30～39	8	8	4	4	-	3	1	-	11
40～49	13	11	7	7	-	4	-	2	12
50～59	6	4	1	1	-	2	1	2	12
60～69	9	7	3	3	-	4	-	2	8
70～	47	37	18	16	2	15	4	10	3

結核健康診断実施状況（表（1）－ 1 4）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

区 分	検 査 内 容						結核有所見	
	総 数	ツベルクリン 反応検査	QFT検査	エックス線 間接撮影	エックス線 直接撮影	喀痰検査	結核患者	要観察者
24年度総数	1,823	22	393	-	1,523	1	2	-
25年度総数	3,061	20	1,083	-	1,929	-	29	-
接 触 者 健 診	2,031	20	1,083	-	899	-	29	-
患 者 家 族	190	10	57	-	119	-	4	-
接 触 者	1,841	10	1,026	-	780	-	25	-
管 理 検 診	140	-	-	-	140	-	-	-
結核対策特別促進事業	233	-	-	-	233	-	-	-
受 託 検 診	657	-	-	-	657	-	-	-

イ 結核患者に対する医療

感染症の診査に関する協議会において、結核医療の適否について診査を行った。この結果、承認された者に対して、医療費公費負担を実施した。

結核医療費関係公費負担診査状況（表（1）－15）

区 分	一般患者（37条の2）			入院患者（37条）		
	申請	承認	不承認	申請	承認	不承認
24年度総数	141	140	1	91	90	1
25年度総数	188	186	2	123	123	0
初 回	153	153	0	59	59	0
継続再発	35	33	2	64	64	0

結核地域DOTS事業支援状況（表（1）－16）

区分	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ	計
24年度	68	9	134	211
25年度	77	23	127	227

Aタイプ：治療中断リスクが高い患者・・・保健所来所、保健師その他関係者の自宅訪問、調剤薬局等でほぼ毎日服薬確認

Bタイプ：服薬支援が必要な患者・・・保健所の来所または調剤薬局等で服薬確認

Cタイプ：A、Bタイプ以外の患者・・・電話・手紙・調剤薬局等で服薬確認

結核健康教育実施状況（表（1）－17）

実施月日	テーマ	講師	対象者	参加人数
25年4月22日	N95マスクフィットテスト	保健師	保健所職員	18
5月28日	結核について	医師、保健師	病院職員	50
6月4日	結核について	医師、保健師	病院職員	30
6月13日	結核について	医師、保健師	病院職員	60
7月18日	結核について	保健師	養護教諭	90
7月23日	結核について	医師、保健師	病院職員	50
8月20日	結核について	医師、保健師	病院職員	40
8月21日	結核について	保健師	高齢者施設職員	11
9月3日	結核予防講演会	医師、保健師	高齢者施設職員	71
9月9日	結核について	医師	小中学校長	120
9月10日	結核について	保健師	中学生	360
9月26日	結核について	医師、保健師	保育園長	12
11月14日	結核について	保健師	環境衛生実地指導員	25

(2) 受託検診

一般の医療機関や検診機関では対応が困難な障害者通所施設の通所者などを対象に、所内で健康診断を行った。

受託検診（障害者施設等）実施状況（表（2）－1）

区 分	実施回数	総 数	エックス線	
			所 内	所 外
24年度	33	798	798	－
25年度	24	657	657	－

(3) 障害児等支援

① 療育相談事業

平成19年度から自立支援医療（育成医療）や小児慢性疾患の医療費助成の申請・受理を保健所で実施し、長期にわたり療養を必要とする子どもや重度心身障害児（者）の療養上の相談や講演会、患者会支援等を行っている。

ア 療育相談事業

保健師による家庭訪問や面接相談を行い、療養上の相談に応じている。

また、東京都で実施している「在宅重症心身障害児（者）訪問事業」の申請・経由の窓口であり、必要に応じて社会資源の紹介、関係機関調整などを実施している。

(表(3)－1)

年度	区 分	家庭訪問 (延べ)	面接相談	電話相談	その他の相談	関係機関連絡
25年度	心身障害児（者）	96	9	114	38	109
	（再掲） 重症心身障害児（者）	79	9	110	38	106
	長期療養児	6	2	13	4	1

イ 在宅重症心身障害児（者）訪問事業

(表(3)－2)

年 度	利用者数	新規（再掲）	個別ケア会議 (回)
25年度	30	8	55

*西部訪問看護事業部（東京都からの事業委託）主催の在宅療育支援地域連携会議に出席した。

日 時：平成26年1月22日、 場 所：八王子市保健所

テーマ：事例を通して在宅重症心身障害児（者）の連携を考える

ウ 障害児グループ支援

「ダウン症児を持つ親子の会（ひよこの会）」に、企画の相談、代表者のサポートなどの支援を継続実施している。

(表(3)-3)

会場	開催回数	参加人数(延数)	内容
市民センター 他	年間8回	173名	音楽コミュニケーション等、勉強会、懇談会等

(4) 歯科保健

歯や口の健康を保つことは、単に食物を咀嚼することにとどまらず、食事や会話を楽しむなど豊かな人生を送るための基礎となり、むし歯や歯周病予防は、日常生活習慣の改善や自己管理能力の向上が重要となるため、各種研修会など、あらゆる機会を利用して、普及啓発に努めた。

また、歯科保健サービスを受ける機会の少ない障害者を対象に、障害者歯科保健推進事業（特に、「かかりつけ歯科医」の推進）を実施し、障害者の日常生活に根ざした歯科保健医療の環境づくりを推進した。

① 障害者歯科保健推進事業

ア 障害者歯科相談

a 歯科保健指導

受託検診受診者を引率する職員を対象に歯みがきの自立や口腔の健康保持・増進を目指して、歯科保健指導を行った。

b 訪問歯科保健指導

在宅障害者、難病患者等に訪問指導を行った。

障害者歯科保健指導（表(4)-1）

年度	障害者歯科保健指導										事後指導		訪問歯科保健指導					
	対象		実施施設数	実施人数	障害児	心身障害者	精神障害者	難病患者等	実施回数		経過視察		実施回数	実施人数	延べ人員	障害児	難病患者	その他
	施設数	利用者数							保健所内	保健所外	実施回数	実施人数						
24	46	807	41	751	—	751	—	—	32	4	4	99	3	3	3	—	3	—
25	37	675	37	663	—	663	—	—	24	—	—	—	4	4	4	—	4	—

イ 講習会開催状況

障害者施設職員等に講習会を実施し、歯みがき支援及び摂食嚥下の必要性を伝えた。

講習会開催状況（表(4)-2）

開催施設数	実施回数	内容	参加人数
4	4	口腔ケア・摂食嚥下	33

② 歯科保健普及事業

各種歯科保健活動の支援

ア 保育所・幼稚園の歯科保健に対する取組状況を把握し支援するため、歯科健診結果等を収集し、分析した。

イ 保育所・幼稚園の歯科保健活動の充実のため担当職員を対象に研修会を開催した。

ウ 市内在住・在勤の方を対象に「地域歯科口腔保健研修会」を開催し、普及を図った。

歯科保健普及対策状況（表（４）－３）

区 分	内 容	実施回数	参加人数
歯科保健活動支援	「上手な歯科のかかり方、ご存知ですか」 岡山歯科医院長 岡山 秀明氏	1	25人
	「障害者の歯科治療支援について」 戸坂歯科クリニック院長 戸坂 清二氏	1	18人
	「誤嚥やむせの予防・安全な飲み込み支援について」 日本歯科大学教授 菊谷 武氏	1	22人
	「子どもの成長と健康な歯について」 昭和大学歯学部教授 井上 美津子氏	1	28人

③ 電話・来所相談

相談状況（表（４）－４）

計	来 所	電 話
9	4	5

（５）環境公害保健

① 光化学スモッグ被害対策

保健所は、光化学スモッグによると思われる健康被害の届出を受けた場合は、被害状況の把握及び必要に応じて現地調査を行っている。なお、平成25年度の光化学スモッグによる健康被害の届出件数は0件であった。

② 大気汚染障害者認定審査会

大気汚染に係る健康障害者の医療費助成を行うため認定審査会を設置し、月1回審査を行った。

平成26年3月末現在の八王子市の認定者数は5,003人であった。

平成25年度大気汚染医療費助成申請件数（表（５）－１）

区 分	総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新 規	439	44	33	54	33	29	32	32	36	51	25	41	29
更 新	2,034	249	153	217	171	115	246	159	130	165	104	179	146
合 計	2,473	293	186	271	204	144	278	191	166	216	129	220	175

(6) 特殊疾病対策

特殊疾病の患者・家族は、疾病の特殊性から医療面・経済面・介護面などに種々の問題を抱え、長期の療養生活を余儀なくされている。

保健所では医療機関、訪問看護ステーション、介護サービス事業所等の地域の関係機関とのネットワークの充実を図りながら、患者・家族の医療や療養生活に関する問題に対し支援を行なっている。

平成19年度から難病医療費助成の申請窓口が保健所に移り、早期の相談対応が可能になった。

① 特殊疾病対策事業訪問相談

特殊疾病対策事業訪問等相談実施状況（表(6)－1）

区 分	総 数	家庭訪問	所内相談	電話相談	その他の 相 談	関係機関 連 絡	
24年度	1,199	193	247	259	100	400	
25年度	1,041	199	164	301	119	258	
内 訳	保 健 師	1,010	170	163	300	119	258
	理学療法士	25	25	-	-	-	-
	作業療法士						
	言語聴覚士						
	栄 養 士	1	-	1	-	-	-
歯科衛生士	5	4	-	1	-	-	

② 難病講演会

難病講演会実施状況（表(6)－2）

開 催 日	内 容	参加人員
25年7月25日	「神経難病の患者さんの生活の工夫～よりよい生活を送るために～」 講師：東京都立神経病院リハビリテーション科 言語聴覚士 原田 明子氏	41人
25年10月16日	「パーキンソン病の最新治療について」 講師：東京都立神経病院脳神経内科医師 高橋一司氏	58人

③ 患者会支援育成

喜楽会・さわやか会（パーキンソン病・神経難病患者交流会）、八王子にじの会（脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の療養者・家族の会）、あいの会八王子（網膜色素変性症の療養者・家族）、八王子を中心に活動している患者会3団体を支援した。

患者会開催状況（表(6)－3）

区 分	回 数	参加延人員
24年度	25	637
25年度	23	484

④ 医療機器貸与及び訪問看護

気管切開、人工呼吸器装着の難病等の在宅療養者に東京都医療機器貸与事業により、吸引器・吸入器の貸与を行っている。またこの事業利用者に対し、訪問看護ステーションによるサービスだけでは不足する場合に訪問看護師を派遣した。

これらの制度を活用している事例では多機関多職種の支援を得て在宅療養をしているため、保健師が在宅療養に係る関係機関の連絡調整を行い、患者・家族の安定した療養環境の整備に努めている。

医療機器貸与実施状況（表（6）－4）

区分	貸与者数 (人)	機器貸与件数		訪問看護利用者数 (人)	訪問看護実績 (件)
		吸引器	吸入器		
24年度	46	45	19	3	47
25年度	33	32	15	3	54

⑤ 在宅療養支援地域ネットワーク事業

難病の地域ケア・ネットワークづくりをめざして「難病保健医療福祉調整会議」及びその下部組織として、難病実務者会議を設置している。

医師会、障害者福祉・介護保険の担当部署、社会福祉協議会、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、及び医療機関等の関係機関の実務者により構成する会議を開催し、研修や事例検討、情報交換などを通して地域の課題を検討する場としている。

在宅療養支援ネットワーク事業実施状況（表（6）－5）

開催日	会議名	内容
25年6月12日	訪問看護ステーション連絡会	「災害時および平常時における在宅酸素療法使用者の備え」 (計23名)
25年10月9日	訪問看護ステーション連絡会	「私たちにできる災害対策を考える」 (計36名)
26年2月25日	難病保健医療福祉調整会議	今年度の事業概要と実績 (報告) 八王子市における難病支援の取り組み (報告と意見交換) ～在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画作成からみえた課題～ 国の制度改革について (情報提供)

⑥ 在宅療養支援計画策定・評価事業

重症難病療養者対策の一つとして要支援者に対する各種サービスの適切な提供をはじめ個々の病状や介護力に応じたきめの細かな支援を行うために、在宅療養支援計画策定・評価事業を実施した。

なお、評価委員会は保健所職員のほか、アドバイザーとして東京都難病医療相談員の協力を得て実施している。

⑦ 八王子市在宅人工呼吸器使用者災害時支援

災害時の要援護者対策において、とりわけ緊急性・特殊性が高い在宅の人工呼吸器使用者に対し、災害時の被害を最小限にとどめることを目的に、「在宅人工呼吸器使用者災害時個別支援計画」を作成した。支援計画書は、家族と保健所等関係機関で情報共有をし、災害時に備えた。

平成25年度 30 件

(7) 精神保健福祉

精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害の早期発見・早期治療の促進及び精神障害者の社会復帰・社会参加を援助するため、相談、訪問指導、精神保健福祉に関する教育、広報活動、患者・家族等の組織育成等の事業を行っている。

なお、庁内の関係部署や地域の関係機関と日常的な連携をはかり、安心して暮らしやすい地域づくりを目指している。

① 地域精神保健福祉連絡協議会及び専門部会

精神障害に対する地域ケアの充実と地域住民の心の健康の保持増進を総合的かつ効果的に進めることを目的に、地域の関係機関の代表者による協議機関として、八王子市地域精神保健福祉連絡協議会を設置している。

また、具体的な課題について協議・検討するため、下部機関として、関係機関の実務担当者による「専門部会」を設置している。

専門部会主催で開催する「八王子市精神保健福祉講座」は、市内の関係機関が精神障害者の理解を深め、相互の連携構築を目的に、毎年1回実施している。

地域精神保健福祉連絡協議会（表(7)－1）

開催日	内 容
25年7月23日	①八王子市地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（平成24年度実施報告及び25年度実施計画） ②八王子市障害者福祉課精神保健福祉事業（平成24年度報告及び25年度計画） ③八王子市保健対策課精神保健福祉事業（平成24年度報告及び25年度計画） ④八王子市生活福祉課における居宅生活安定化支援事業 ⑤八王子市における自殺総合対策（協議）

地域精神保健福祉連絡協議会専門部会（表(7)－2）

開催日	内 容
25年 8月 1日	①平成25年度八王子市地域精神保健福祉連絡協議会実施報告 ②平成24年度専門部会報告 ③平成25年度専門部会計画（協議） ④精神障害者の雇用現状と課題（話題提供）
25年11月29日	精神保健福祉講座 ① 講演：「精神障害者の理解と対応」恩方病院 医師 春日雄一郎氏 ② パネルディスカッション：精神障害者の地域生活を支援する
26年2月13日	① 平成25年度精神保健福祉講座報告 ② 精神保健福祉施策の動向（話題提供）

② 精神保健福祉相談

精神疾患に関する診断や対応方法等について、専門医等による一般精神保健福祉相談（月2回）、高齢者精神保健相談（隔月1回）、酒害相談（隔月1回）及び思春期相談（月1回）を実施した。保健師による家庭訪問、来所面談、電話相談等は随時実施している。

精神保健福祉相談・訪問指導（専門医による）（表（7）-3）

年 度	精 神 保 健 福 祉 相 談							精 神 保 健 福 祉 訪 問 指 導							
	実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				実 施 回 数	実 人 員	延 人 員	内 訳				
				高 齢 者	酒 害	思 春 期	一 般 精 神 保 健				高 齢 者	酒 害	思 春 期	一 般 精 神 保 健	そ の 他
24	46	105	107	17	8	31	51	2	2	2	—	—	1	1	—
25	47	110	123	18	13	34	58	—	—	—	—	—	—	—	—

精神保健福祉延相談数（保健師による）（表（7）-4）

区 分		社会復帰	高齢者	依存症	児童・ 思春期	心の健康 づくり	一般精神	その他	合計
24		422	203	536	241	1,193	3,498	153	6,246
25		647	275	561	220	1,792	2,570	45	6,110
内 訳	家 庭 訪 問	23	19	26	8	91	299	6	472
	面 接 相 談	94	17	66	47	258	402	3	887
	電 話 相 談	255	105	289	99	898	1,301	16	2,963
	文 書 等 相 談	92	0	58	12	100	83	8	353
	関 係 機 関 連 絡	183	134	122	54	445	485	12	1,435

未治療・治療中断患者等地域支援事業（困難事例検討会）

保健師が地区活動を実施している対象者で、多問題で対応が困難な未治療・治療中断事例を東京都立多摩総合精神保健福祉センターの医師や職員をスーパーバイザーとして事例検討し課題解決につなげている。

平成25年度は12回実施した。

③ 精神保健福祉法に基づく医療保護入院

精神保健福祉指定医に精神障害があると診断され、かつ医療及び保護のため、入院の必要があると認められた場合、本人の同意がなくても、保護者の同意があれば、入院（医療保護入院）させることができる。

当所に報告された管内の精神病院（16か所）が扱った医療保護入院数は表のとおりである。

医療保護入院届出数（法第33条第1項）（表（7）-5）

年 度	管 内 総 計	症状性を含む 器質性 精神障害			精神作用物質 使用による精神及び 行動の障害				及 び 統 合 失 調 症 ・ 分 裂 型 障 害 及 び 妄 想 性 障 害	気 分 （ 感 情 ） 障 害	ス ト レ ス 関 連 障 害 等	成 行 動 の 人 格 害	精 神 遅 滞	そ の 他 の 精 神 障 害	て ん か ん	そ の 他
		小 計	認 知 症	認 知 症 以 外	小 計	ア ル コ ール 使 用	覚 せい 剤	そ の 他 の 使 用								
24	1,609	597	456	141	113	92	3	18	626	186	33	28	26	-	-	-
25	1,524	574	461	113	82	60	2	20	599	180	21	45	23	-	-	-

④ 警察官通報等による保護の申請、通報の受理

警察官等は、精神障害のために自傷他害のおそれがある者を発見したときは、直ちに、最寄りの保健所長を経由して知事に通報することになっている。

精神保健法に基づく診察及び保護の申請または通報受理数（表（7）-6）

年 度	管 内 総 数	内 訳			
		第23条 （一般人の 申請）	第24条 （警察官の 通報）	第26条の2 （精神病院管理者の届出）	第26条の3 （心神喪失等の状態で重大な他害 行為を行った者に係る通報）
24	116	-	116	-	-
25	94	-	94	-	-

⑤ 精神障害者社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）

回復途上の精神障害者がスポーツ、創作、料理、ミーティング、屋外活動等の集団生活指導を通じて、社会生活の適応と対人関係の改善を図ることを目的として、保健所で月3回行っている。

また、グループワークの他、個別相談会を年3回実施し、個別のアセスメントを行い目標の確認や卒業後の生活のイメージを持つなどステップアップを図った。

さらに、家族懇談会も年2回開催し、病気の理解を深めるとともに、家族にグループ活動を理解してもらおう場となった。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）実施状況（表（7）-7）

年 度	実 施 回 数	参 加 者 数	
		実 参 加 者 （ 人 ）	延 べ 参 加 者 （ 人 ）
24	38	20	239
25	33	17	232

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）参加者の動向（表（7）－8）

年 度	区 分	総 数	就職(学)	家庭内適応	他部門	中 断	継 続	その他	男女計
24	男	8	1	－	1	－	6	－	20
	女	12	－	2	2	－	8	－	
25	男	8	－	1	3	－	3	1	17
	女	9	－	5	1	－	3	－	

社会復帰促進事業（個別アセスメントグループ）事例検討会

個別アセスメントグループのグループワーカー、保健師等で利用しているメンバーの事例検討会を平成25年度は3回実施した。

⑥ 思春期の課題を抱える家族グループ

社会的引きこもり等の課題を抱える家族を対象に、家族がより良い対応やコミュニケーションの工夫を学び、「引きこもり」等の理解と回復を目的とする親のためのグループワークを実施（月1回開催）している。グループ運営会議を年1回実施し、事業方針及び実績の評価を行った。

思春期の課題を抱える家族グループ実施状況（表（7）－9）

年 度	実施回数	参加者数	
		実参加者(人)	延参加者(人)
24	12	36	182
25	12	27	187

⑦ 組織育成・普及啓発事業等

ア こころの健康づくり普及啓発講演会

精神保健福祉に関する知識の普及を図り、地域住民のこころの健康の保持増進を目指すことを目的に年1回講演会を実施している。今年度は国立精神・神経医療研究センター・睡眠障害センター長、亀井雄一氏による「睡眠とこころの健康について」の講演会を実施し、161名が参加した。

イ 講演会

地域住民や患者家族等を対象に、精神保健福祉に関するさまざまな問題について、講演会を実施し、精神保健福祉知識の普及・啓発を図ることを目的としている。

精神保健福祉講演会等開催状況（表（7）－10）

開催日	対象	テーマ	講師	参加人数
5月19日	市民、関係者	健康フェスタ ブースを設けて、メンタルヘルスについて啓発	保健対策課職員	520名
9月19日	いしまさコーポレーション安全衛生協力会	熱中症、心の健康	保健師	60名
12月11日	ウイングル八王子センター	はじめよう！こころの健康づくり	保健師	30名
1月23日	市民、関係者	発達障害ってなに？	島田はちおうじ 小沢浩医師	52名
2月20日	NPO さーくる南会（精神障害者家族会）	精神障害をもった方が地域で自立して生活していく方法	保健師	8名
3月13日	わかくさ家族会会員	精神保健福祉における保健所の役割	保健師	24名
3月19日	ケアマネ研修会出席者、関係者	地域ケア会議	保健師	70名

ウ 依存症家族教室

アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症者に関わる家族を支援する機会として、多摩総合精神保健福祉センターの協力を得て開催した。3日間コースで1回開催し、参加者は延べ13人であった。

⑧ うつ自殺対策

平成10年以降自殺者数は高い水準が続いている。背景には健康問題、経済・生活問題、家族問題、勤務の問題等が複雑に関係し、追い込まれた末の死といわれている。平成21年より保健所内に自殺対策プロジェクトを立ち上げ、保健対策課からも精神保健分野での視点から参加している。

ア 身近なゲートキーパー養成

自殺に関する普及啓発とともに自殺の危険のある人を早期に発見し、自殺予防のために連携協力して取り組む身近なゲートキーパーの養成研修を食品衛生、理美容講習会等の機会を活用し実施した。

身近なゲートキーパー養成状況（表（7）－11）

年度	回数（回）	参加者数（人）
25	7	753

イ 八王子市自殺対策庁内連絡会の開催（事務局）

健康政策課と保健対策課が事務局となり、平成22年度から八王子市自殺対策庁内連絡会を開催している。

平成25年度の取組みとして、

- ・八王子市自殺対策庁内連絡会（12月16日）
- ・八王子市自殺総合対策職員向け研修（1月16日 29名参加）

テーマ：「自殺をほのめかす相談対応と行政の役割」

NPOメンタルケア協議会 西村 由紀氏（精神保健福祉士）

- ・こころの体温計の活用

- ・強化月間に合わせた広報掲載、看板・懸垂幕の掲示
- ・市民向けパンフレットの製作（1万枚）
- ・職員向け相談窓口一覧冊子の改定

⑨ 家族会支援

精神障害者の社会復帰の促進、自立と社会経済活動への参加の促進のため、精神障害者の家族会、認知症高齢者家族会に会場提供や技術支援を行っている。

家族会開催状況（表(7)－12）

会の名称	わかくさ家族の会	さーくる南	ふれあいの会
対 象	八王子市の精神障害者を持つ家族	南大沢周辺の精神障害者を持つ家族	八王子市の認知症高齢者を持つ家族
保健所が支援した回数	7	5	2

（8）保健師活動

保健師活動は、地域住民の健康の保持増進、疾病の予防と早期発見・健康回復及び社会復帰への援助などを目的として、地域の保健需要に基づき、感染症、精神、難病、障害児等に対応する。具体的な活動内容は家庭訪問、健康相談、健康教育、関係機関との連絡調整、保健活動推進のための企画、運営への参画、保健・医療系学生への教育、実習指導及び研究活動などである。

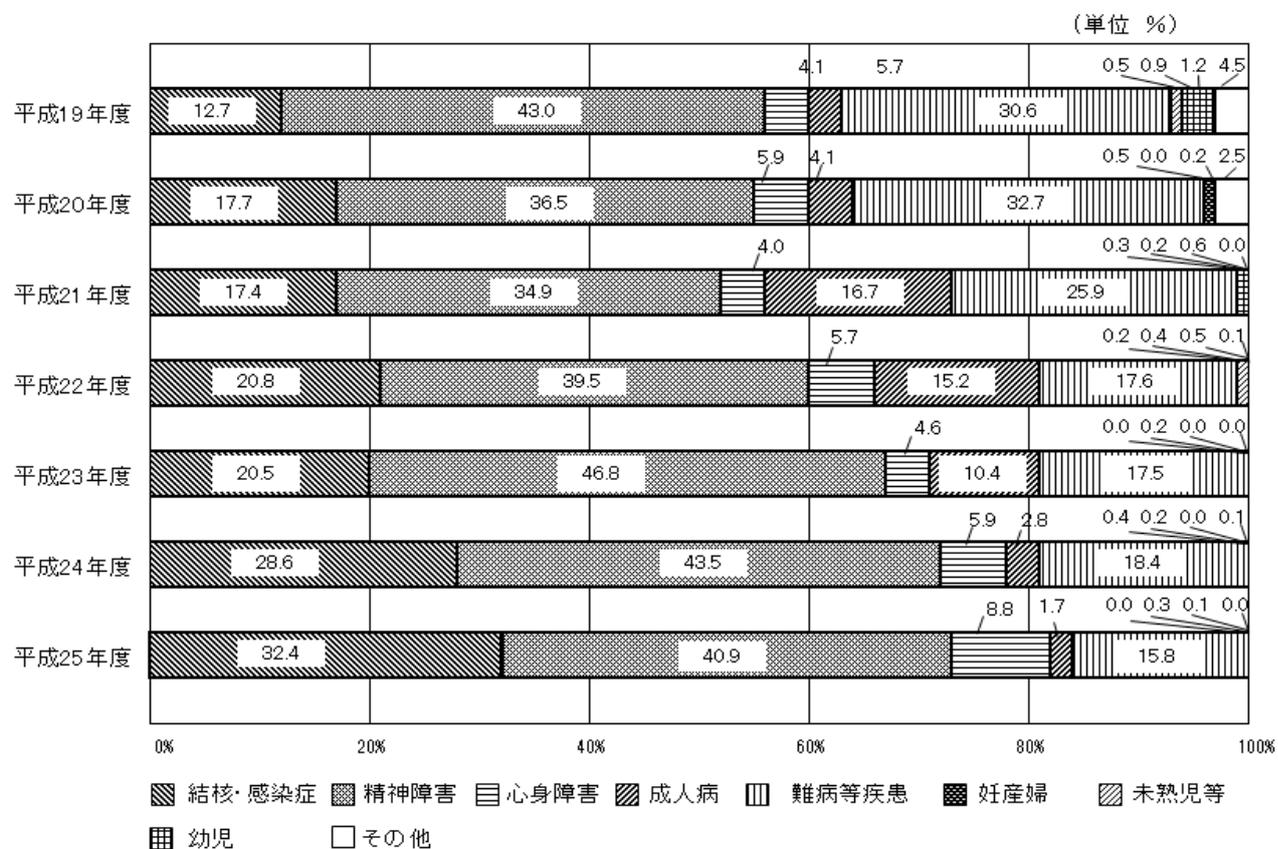
① 専門的・広域的対人保健活動

ア 保健指導体制

市内を9つの地域に分割し地区担当保健師が対応している。また、処遇困難事例については業務担当リーダーと地区担当保健師が連携し複数で対応している。

イ 地区活動状況

保健師の家庭訪問対象の推移（平成19～25年度）（表（8）－1）



保健師活動状況（表（8）－2）

年 度	区 分	総 数	感 染 症 対 策 担			地 域 保 健 担 当											
			感 染 症	結 核	エ イ ズ	精 神 保 健 福 祉	心 身 障 害	成 人	難 病	そ の 他 疾 患	妊 産 婦	乳 児	(再掲)			幼 児	そ の 他
													未 熟 児	新 生 児	一 般 乳 児		
24	家庭訪問	928	24	240	1	404	55	26	167	4	4	2	-	1	1	-	1
	所内相談	1,811	74	432	89	895	17	36	246	13	1	1	-	-	1	6	1
	電話相談	6,521	638	1,807	542	2,782	133	150	253	77	4	4	-	-	4	8	123
	文書その他の相談	2,136	82	1,038	-	882	12	2	97	23	-	-	-	-	-	-	-
	関係機関連絡	4,104	881	1,293	45	1,283	196	2	398	4	-	-	-	-	-	1	1
	合計	15,500	1,699	4,810	677	6,246	413	216	1,161	121	9	7	-	1	6	15	126
25	家庭訪問	1,154	70	304	-	472	102	20	170	12	-	3	-	1	2	1	-
	所内相談	1,642	84	387	66	892	11	20	163	12	-	2	-	-	2	1	4
	電話相談	6,717	728	1,922	501	2,963	127	72	300	53	4	1	-	-	1	1	45
	文書その他の相談	2,643	45	2,084	-	353	42	-	119	-	-	-	-	-	-	-	-
	関係機関連絡	3,940	795	1,318	5	1,435	110	6	258	2	-	-	-	-	-	-	11
	合計	16,096	1,722	6,015	572	6,115	392	118	1,010	79	4	6	-	1	5	3	60

* 心身障害に重症心身障害児(者)及び長期療養児を含む

学会報告状況(表(8)－3)

学 会 名	係 名	演 題
南多摩保健医療圏 地域保健医療フォーラム (第14回)	地域保健担当	医療依存度の高い在宅難病療養者の災害対策～災害時個別支援計画策定のプロセスを活かす～

② ヘルスプロモーションを推進するための活動

地域住民の健康の保持・増進を推進するため、セルフヘルプグループの育成・活動の支援を行った。
また、地域住民組織や関係団体等への支援を積極的に実施し、地域のネットワーク化に努めた。

地域住民・関係団体等への支援・連携状況（表（8）－4）

区 分		関係機関・団体	回数	参加 人数	支 援 内 容
セルフヘルプグループ	精神	精 神 障 害 者 地 域 家 族 会	14	440	精神障害者家族の交流や自主グループとしての会の運営等への支援
	難病	難 病 患 者 ・ 家 族 交 流 会	23	484	セルフヘルプグループ交流会
	母子	ひ よ こ の 会	8	173	セルフヘルプグループ交流会
関係機関支援	精神	八王子PSW研究会	9	…	連携会議
		障害者就労・生活支援センター	1	…	運営協議会
		八王子精神科看護師長会	5	…	精神科病院看護師長の連絡、連携、研修会
		グループホーム入居支援会議	6	…	入居支援
		地域移行・定着 個別支援会議	5	…	精神障害者の地域移行・定着に関する検討
		老人ホーム入居判定会議	4	…	入居判定協議
	地域	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 会 議	11	…	地域包括支援センターと高齢者支援課、その他関係機関との情報交換等
	子 ども 家 庭 支 援 セ ン タ ー 会 議	8	…	子ども家庭支援センター、関係機関との情報交換等	

(9) 検査実施状況

①受託検診(表(9)-1)

検査項目		24年度	25年度	
		総数	総数	
総数		11,789	9,721	
尿検査	小計	3,152	2,596	
	蛋白	788	649	
	糖	788	649	
	ウロビリノーゲン	788	649	
	潜血	788	649	
血液生化学的検査	小計	8,464	7,001	
	白血球数	764	631	
	赤血球数	764	631	
	血色素	764	631	
	ヘマトクリット	764	631	
	GOT	766	633	
	GPT	766	633	
	γ-GTP	766	633	
	コレステロール	766	633	
	中性脂肪	766	633	
	HDLコレステロール	766	633	
	尿酸	49	48	
	血糖	763	631	
	生理学検査	心電図	173	124

② エックス線検査

事業別エックス線検査実施数(表(9)-2)

年 度	区 分	総 数	結核感染症によるもの						
			患者 家族 検診	接触者 検診		管理 検診	受託 検診		結核 対策 特別 推進 事業
				所内	所外		所内	所外	
24年度	デジタル撮影	1,342	115	206	-	83	798	-	140
	直接撮影	106	-	-	106	-	-	-	-
25年度	デジタル撮影	1,745	99	681	-	75	657	-	233
	直接撮影	67	-	-	67	-	-	-	-

※ 受託検診・接触者検診の所外はX線検診車撮影分

(10) 医療費助成

療育医療及び自立支援医療（育成医療）については申請受理・認定審査・支払事務を、大気汚染医療については申請受理・認定審査事務を、妊娠高血圧症候群等医療及び未熟児養育医療については認定審査・支払事務を、特殊疾病及び小児慢性疾患医療費助成等の経由事務については申請受理・東京都への進達事務を行い、患者等に対する適切な医療の提供と経済的負担の軽減を図った。

(表(10)-1)

疾 病 名		24年度 申請受理 件数	25年度 申請受理 件数	
総 数		7,770	8,321	
妊娠高血圧症候群等医療		3	7	
未熟児養育医療		110	86	
自立支援医療（育成医療）		65	49	
療育医療		-	1	
小児慢性疾患	神経・筋疾患	34	35	
	慢性心疾患	89	84	
	膠原病	15	13	
	慢性腎疾患	38	33	
	内分泌疾患	96	91	
	糖尿病	31	26	
	先天性代謝異常	16	18	
	慢性血液疾患	26	19	
	悪性新生物	68	54	
	呼吸器疾患	16	13	
	消化器疾患	10	11	
	小児慢性疾患 合計		439	397
特 殊 疾 病	神経系	多発性硬化症	80	82
		重症筋無力症	79	89
		スモン	5	4
		筋萎縮性側索硬化症	34	36
		脊髄小脳変性症	142	135
		パーキンソン病関連疾患（進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病）	559	584
		アミロイドーシス（原発性アミロイド症）	6	6
		後縦靭帯骨化症	138	137
		ハンチントン病	2	2
		モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	52	59
		多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群）	53	47
		広範脊柱管狭窄症	37	38
		プリオン病	4	7
		神経線維腫症（Ⅰ型/Ⅱ型）	8	8

	球脊髄性筋萎縮症	6	5
	ライソゾーム病 (ファブリー病含む)	2	1
	黄色靭帯骨化症	7	11
	進行性筋ジストロフィー	14	16
	脊髄性筋萎縮症	4	4
	脊髄空洞症	6	6
	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	30	32
	母斑症	5	5
	ミオトニー症候群	21	20
	ミトコンドリア病	6	9
	遺伝性(本態性)ニューロパチー	5	5
	先天性ミオパチー	2	3
	神経系 合計	1,307	1,351
膠原病	ベーチェット病	85	94
	全身性エリテマトーデス	238	248
	サルコイドーシス	73	81
	強皮症	117	133
	皮膚筋炎・多発性筋炎	76	72
	結節性動脈周囲炎(結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎)	38	43
	高安病(大動脈炎症候群)	21	21
	悪性関節リウマチ	22	25
	ウェゲナー肉芽腫症	5	3
	特発性大腿骨頭壊死症	43	42
	混合性結合組織病	62	59
	シェーグレン症候群	49	47
	アレルギー性肉芽腫性血管炎	14	18
	強直性脊椎炎	18	20
	成人スティル病	16	18
膠原病 合計	877	924	
	再生不良性貧血	31	30
	特発性血小板減少性紫斑病	76	80
	潰瘍性大腸炎	651	712
	ビュルガー病	19	21
	天疱瘡	25	24
	クローン病	147	153
	劇症肝炎	1	1
	特発性拡張型(うっ血型)心筋症	54	63
	膿疱性乾癬	9	9

その他	原発性胆汁性肝硬変	93	98
	重症急性膵炎	7	14
	原発性免疫不全症候群	5	8
	特発性間質性肺炎	43	43
	網膜色素変性症	105	112
	肺動脈性肺高血圧症	6	9
	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	14	11
	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	2	1
	肥大型心筋症	11	16
	リンパ脈管筋腫症（LAM）	4	5
	間脳下垂体機能障害	44	48
	ウィルソン病	5	4
	骨髄線維症	5	6
	ネフローゼ症候群	77	82
	多発性嚢胞腎	20	21
	特発性門脈圧亢進症	3	3
	びまん性汎細気管支炎	10	9
	網膜脈絡膜萎縮症	4	4
	自己免疫性肝炎	52	58
	原発性硬化性胆管炎	3	3
	肝内結石症	1	1
その他 合計	1,527	1,651	
特殊疾病合計		3,711	3,926
人工透析を必要とする腎不全		1,135	1,136
先天性血液凝固因子欠乏症等		29	30
ウイルス肝炎	B型・C型ウイルス肝炎治療	195	216
大気汚染医療	気管支ぜん息	2,508	2,473
	慢性気管支炎	—	—
	ぜん息性気管支炎	—	—
	肺気しゅ	—	—
	大気汚染医療 合計	2,508	2,473

(11) 特定不妊治療費助成

特定不妊治療費助成については、保険が適用されず1回の治療費が高額となる特定不妊治療（体外受精及び顕微授精）を受けている夫婦で、都の助成事業の対象となった者に対して、1回の治療につき5万円を上限に治療費の一部を助成することにより経済的負担の軽減を図った。

(表(11)-1)

年 度	助成人数（夫婦）	助成件数	助成額
25	332	541	26,159,341